

教育体系に中産大研修を組み込み 実践的スキルの習得につなげる

株式会社 TOP

代表者名 山本 恵一 所在地 越前市
業 種 電子部品製造業
事業内容 モータの設計・開発、生産・販売

事業活用までの経緯

従来の子社の人材育成手法はOJT（職場内教育）が主流であり、ISO内部監査員養成といった専門性が高い分野において、中産大（中小企業産業大学校）の研修を活用していた。しかし、OJT中心の教育では、指導者によって考え方に偏りが生じ、変化に対応できず非効率的な業務になるという懸念も抱いていた。

一方、業績としては、高い技術力を背景に、開発するモータが自動車等の新分野で受注を伸ばしており、事業拡大や変化に適應できる人材がますます求められるようになっていた。そこで、優秀な人材の育成には、より幅広知識・スキルを体系的に学習する場が必要と判断し、中産大の研修を積極的に活用することとなった。



活用内容

現在、中産大の研修を教育体系の一環として組み込んでおり、年間教育計画を作成する際、育成すべき社員と内容を明確にし、社員の能力を見極めた上で対応する研修を選定。特に、階層別教育や生産管理・現場改善を重点分野と位置付けており、毎年多くの社員を研修に派遣している。

<研修のポイント>

大部分の研修に東京等で活躍中の講師を起用しており、また、考える力を養成するためのグループワークを多用していることから、受講者の満足度は高く、研修の繰り返し活用につながっている。



利用された 企業からの 声

総務課 課長
市川 久隆 氏

中産大の研修を受講した社員からは、新たな気づきを得ることができたという声をよく耳にします。異業種の方が集まる場ですので、参加者の考え方も勉強になっているようです。また、学んだことを実践し、成功と自信につながる社員もいます。

今後も、学びを活かすことができるようフォローを行いながら、中産大の研修を活用していきたいと思ひます。